



センター
内部

センター
全貌

ライスサイヤー
フライヤー
(通称)

ポイラー室
ミキサー

給食センターの概要

所在地	大字小橋846 電話4-5072
設計監理	沼田市 徳島建築設計事務所
施工	本林 大字天引 小河原建設機 設機 商機由 徳ヤマニ熱工業
工期	昭和50年7月1日着工 昭和50年10月30日完成
建築費	72,518,000円
敷地面積	1,053.78㎡ (319.33坪)
建築面積	526.85㎡ (159.41坪)
構造	鉄骨造、平屋建、瓦葺葺
厨房機械	球形炭火鍋1・高速炊きキヤー1 蒸し器1・フライヤー1・ガス回 転釜2・ライスポイラー4・食器 消毒保管庫1・食器消毒保管庫1 食器洗淨機1・食器洗淨機1・蒸 気ポイラー1・マイタロスグレー 1
給食規模	小学校4校 1,235人 中学校3校 694人 幼稚園4園 287人(51年4月予 計) 計 2,216人 (定)

十一月十九日、完成した学校給食センターでそのしん工式が行われまして、

当日は、町長、教育長、議長をはじめ、各校校長、学校給食運営委員長など、また、設計の小河原建設事務所、施工の小河原建設設備のヤマニ熱工業の約六十人が出席するなかで行われました。式の後、施設(写真上)の見学をされ、りっぱな給食センターを確証しました。

この給食センターの完成で、町内小、中学校、幼稚園の児童・生徒二、二一六人の給食を確保されるわけです。

給食センターの概要は左記のとおりです。

給食センター完成

センターで給食を開始するのは五十年度の三学期からです。(給食部は五十一年度)

昭和三十一年十一月、はじめ小橋小学校に給食調理場が開設され、小橋地区を対象に生産が実施されました。続いて昭和三十一年一月に一中に給食、新屋敷の小、中学校を対象とした施設がつけられ、業務が開始されました。同時に各町の調理場から秋田地区の小、中学校への給食がはじこめられ、現在に至っています。

今までの諸設備が老朽化し、そのうえ、施設が二階にあるので、運営上にも不利が出ており、また、地味面見への給食も要請されていまして、建設も要請されていまして、建設